

# 日本は原発を売るな！

## 1.31 原発輸出反対学習討論会

安倍政権は、「2020年に30兆円（現状10兆円）のインフラシステムの受注を実現する。」（日本再生戦略）として、安倍首相のトップセールス毎年10件以上の実施を目標に、インフラシステム輸出を進めています。そして、この中心が原発の輸出です。

日本国内の原発新增設が事実上頓挫した現在、原発メーカーとその債権者である大手銀行が狙うのはインド等海外への輸出です。2013年5月原子力協定の締結に向けた日印両国の合意以降もインド国内では、7月に全国反原発集会在成功するなど、フクシマ事故を契機とした反対運動の高揚は力強く継続されています。

インド原発問題の第1人者である福永先生をお迎えして、こうしたインドの情勢と原子力カムの動きを学習し、国際連帯で原発輸出に反対する運動を進める討議を行います。ぜひご参加ください。

日時：2014年1月31日（金）

18時開場

18時30分～21時

会場：エルおおさか701号

大阪市中央区

地下鉄・京阪天満橋

西へ徒歩7分

参加費：500円



### 講演

福永正明： 岐阜女子大学南アジア研究センター  
センター長補佐・客員教授。

日本のインド、南アジア地域の専門家。南アジア地域の動向分析と国際関係、インド社会構造、ヒンドゥー教の聖地を専門とする。北インドにある国立バナラース・ヒンドゥー大学大学院社会学研究科にて博士号取得。インドの日刊紙 The SANMARG の日本特派員。社団法人日本外国特派員協会正会員。『世界12月号』に「日本は原発を売るな！」を寄稿。



主催：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会、協力：ノーニュークスアジアフォーラムジャパン  
連絡先：三ツ林 携帯 090-8382-9487、Email: YFA64193@nifty.com、佐藤 携帯 080-6174-8358

# 世界のどこにも原発はいらない 1月国会が原子力協定をめぐる焦点に

安倍首相は、1月26日のインド訪問を計画しています。これは、インド政府が共和国記念日行事の主賓として招待したことによるものですが、日本政府はこの時に「原子力協定調印」を手土産にするとされています。そして、1月27日からの通常国会で「成長戦略」としてトルコ等との原子力協定とともに承認を求めると考えられています。

トルコとは、1月7日にエルドアン首相が来日し、原子力協定の国会承認手続きを双方が進めることを確認しました。トルコへの原発輸出では三菱重工業などの企業連合が昨年、黒海沿岸のシノップ原発建設計画を受注しました。同計画は原子炉四基で総事業費二兆円超。しかし、現地ではフクシマ原発事故以降、地震が多いトルコでの事故を懸念し、原発輸出への反対運動が高まっています。

原子力協定は、「核物質・原子力関連資機材とこれらにかかわる技術の輸出入の際、平和利用に限定して軍事転用を防ぐために設けられる法的枠組み」です。日本が参加する二国間協定は、原子炉・燃料ウラン・原発技術などの日本への輸入や、日本国外での使用済み核燃料再処理の目的で交わされてきたほか、近年では新興国などへの原発輸出のために締結されてきました。

## 原子力グローバル資本となった日本のメーカー

インドは、核拡散防止条約（NPT）に加盟していないことから、長年にわたって国際的な原子力協力から締め出されてきました。しかし、アメリカはインドを「例外」扱いとしてインド原発市場に参入することを画策してきました。現在、アメリカの原子力産業は、日本企業との合弁（日立製作所とGE）や日本企業の子会社（東芝によるウェスティングハウス社買収）に再編されていますが、三菱重工業と仏アレヴァ社との合弁会社（トルコ原発を受注）を合わせた3者がインドでの原発建設を計画しています。

インドでは、過去の重大事故を教訓に2010年に「インド原子力損害賠償法」が制定されました。これは、原発運営会社（事業者）だけでなく設備や燃料の供給者に対しても賠償を請求する権利を認め、インド国内での原発事故発生時に備えるインド独自の賠償制度です。この制度によって、原発輸出を止められてきたアメリカ政府は、この制度を実質的に骨抜きにする条約をつくり、日本政府にもこの条約の締結を求めてきています。このことによって、日米仏などのグローバル資本が、我が物顔にインドでの原発建設を進めようとしているのです。

## 私たちの税金を使うな！国際連帯で闘おう！

さらに、原発輸出を「成長戦略」の柱に位置付ける安倍政権は、これに公的資金を投入することを決定しました。



原発建設計画の実行可能性調査などにODA(政府開発援助)を、本体や周辺整備にJBIC(国際協力銀行)融資が使われ、事故等の保険であるNEXI(日本貿易保険)も基金が底をつけば税金から補填されるということになります。インドでは、2013年7月に「反原発全国大会」が成功裏に開催されました。フクシマ事故を世界のどこにも繰り返してはなりません。輸出先の人々と連帯して原発輸出に反対しましょう。1.31 学習討論会へのご参加をお願いします。